

平成30年度第1回鴻巣市まちづくり市民会議 次第

日 時 平成30年5月24日(木)
午前 9時30分～
場 所 鴻巣市役所 本庁舎 4階
402・大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 平成29年度まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

4 本年度におけるまちづくり市民会議について

5 議事

(1) 対象施策及び重点基本事業の取組評価の報告

(2) 対象施策及び重点基本事業の課題・改善点の検証

〔 Aグループ 2-4：高齢者福祉の推進
Bグループ 4-4：市街地の整備 〕

6 その他

・次回の審議会の予定等について

7 閉会

成果向上に向けた取組提案シート(施策2-4)

政策	2 保健・福祉・医療に関する政策
施策	4 高齢者福祉の推進
☆施策の目指す姿 ⇒ 高齢者が住み慣れた地域で安心と生きがいをもった生活をしています。	
重点基本事業	1 介護予防と社会参加の促進
☆基本事業の目指す姿 ⇒ 場の提供等により、生きがいを持って生活するとともに、介護予防に取り組み、介護状態にならず生活を送っています	
重点基本事業	4 医療・介護連携の基盤づくり
☆基本事業の目指す姿 ⇒ 医療と介護の連携により、一人一人の状態に応じたサービスが円滑に受けられます。	
☆重点基本事業に選定された理由 ⇒ ① まちづくり市民アンケートにて、施策満足度が低く、重要度の意向が高い施策であったこと。 ② 介護予防の促進により、歳出適正化の点で直接的効果の高い基本事業であること。 ③ 市長マニフェストの一つとして、生きがいを感じている高齢者を増やすことが打ち出されていること。	

◆ 成果指標の動向と評価

No	指標名	単位	目標方向性	H26	H27	H28	目標値(H33)
施策指標1)	介護保険利用者在宅生活をしている高齢者割合	%	➡	73.1%	73.0%	76.0%	75.0%
	指標・目標値設定根拠	「地域包括ケアシステムの構築」では、介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができることが求められている。地域包括ケアシステム構築の進捗状況の指標として設定する。目標値については、介護保険を利用する高齢者が増加することを考慮すると、数値的には悪化する方向に向かうため、現状維持から若干の改善に向かう数値とした。					
施策指標2)	自立している高齢者の割合	%	➡	87.2%	87.4%	87.3%	88.0%
	指標・目標値設定根拠	自立している高齢者の割合が増えることにより、健康で生きがいを持って暮らしている高齢者が増えることに繋がると考えられるため、この割合を指標として設定する。目標値については、75歳以上の高齢者が増加すると、介護保険を利用する高齢者の割合は増加するため、数値的には悪化する方向に向かうことになる。このため現状維持から若干の改善に向かう数値とした。					
重点基本事業1) 指標①	生きがいを持っている高齢者の割合	%	➡	75.4%	71.9%	78.6%	75.0%
	指標・目標値設定根拠	生きがいを持って暮らしている高齢者は、介護状態にならない生活を送っていると考えられるため、指標として設定する。目標値については、75歳以上の高齢者が増加すると、介護保険を利用する高齢者の割合は増加するため、数値的には悪化する方向に向かうことになる。このため現状維持から若干の改善に向かう数値とした。					
重点基本事業1) 指標②	新規要介護認定者出現率	%	➡	1.8%	2.0%	2.2%	1.9%
	指標・目標値設定根拠	新たに要介護となる高齢者が少ないという事は、高齢者自らの介護予防への取り組みと、市が行う介護予防事業の効果が表れていると考えられるため、指標として設定する。目標値については、75歳以上の高齢者が増加すると、介護保険を利用する高齢者の割合は増加するため、数値的には悪化する方向に向かうことになる。このため現状維持から若干の改善に向かう数値とした。					

指標値の向上に特に貢献する事務事業	事務事業名	事務事業の成果動向
	一般介護予防事業	
高齢者が通いの場に継続的に参加することで、地域づくりを推進するとともに、自立を支援する取り組みとして一般介護予防事業を展開する。 ○はつらつ健康スタジオ:65歳以上の元気な高齢者を対象とした介護予防事業(委託事業)。複合型(転倒予防の運動・口腔・栄養・認知症予防)の教室を実施。市内13ヶ所で行う。実施回数 552回 延べ参加者 13,474名 ○のすっこ体操:住民が主体となって運営する通いの場として実施。全国で実施している「いきいき百歳体操」を週2回以上実施。実施団体 23団体 ○わがまちサロン:介護予防リーダーによる軽体操・脳トレ・おしゃべりタイム・うたの合唱等 市内6ヶ所 月2回実施 延べ参加者 4,209名 ○介護予防リーダー(市民ボランティア)養成研修(登録リーダー数132名)		

指標値の向上に特に貢献する事務事業	事務事業名	事務事業の成果動向
	生活支援体制整備事業	
○NPO・ボランティア・社会福祉法人等、多様な事業主体と連携をしながら、高齢者向けの生活支援サービスの充実・強化を図る事業。 ○地域における多様な資源を見つけ・育てる、生活支援コーディネーターと呼ばれる人を中心として、多様な人材で構成される「支え合い推進会議」を運営し、生活支援・介護予防にかかるサービスの基盤整備を行う。		

重点基本事業2) 指標①	医療との連携による在宅生活ケア件数	%	➡	— (H27)	10件 (H28)	28件 (H29)	25件
	目標値の設定根拠	平成29年度より設置した在宅医療連携センターで受けた件数を指標に設定することにより、高齢者が在宅で適切に、医療と介護のサービスを受ける体制が整っている指標となる。目標値については、新しい指標のため平成28年度の件数より伸びを見込んで設定した。					
重点基本事業2) 指標②	関係機関からの医療介護連携に関する情報提供件数	%	➡	— (H27)	2件 (H28)	10件 (H29)	50件
	目標値の設定根拠	地域包括支援センターと在宅医療連携センターが情報共有を行うことにより、高齢者一人一人の状態に応じたサービスが、円滑に受けられる体制が整っている指標となる。目標値については、新しい指標のため平成28年度の件数より伸びを見込んで設定した。					

指標値の向上に特に貢献する事務事業	事務事業名	事務事業の成果動向
	在宅医療・介護連携推進事業	
医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する。 ①地域医療・介護連携の課題の抽出と対応の協議・・・在宅医療介護連携推進会議 ②在宅医療・介護サービスの情報の共有支援・・・在宅医療連携センター(北足立郡市医師会への委託事業)の運営 ③地域住民への普及啓発・・・在宅医療・介護連携マップの作成		

担当課の評価
<目指す姿の実現に欠かせない考え> ・高齢者はサービスの受け手だけではなく、多様化する生活支援の担い手としても活躍することにより、社会参加による介護予防の推進を図る。 ・地域住民などの多様な主体による、生活支援・介護予防サービスなどの多様な資源を提供することにより、高齢者がいつまでも住みなれた地域で暮らしていける。
<目指す姿の実現に向け、課題と考えている事項> ① 多様な主体や、多様な資源を、見つけ又は開発していくことが難しい。 ② 高齢者の社会参加を促すための対策 ③ 医療関係者・介護サービス事業者だけではなく、栄養士・薬剤師など多様な人材のネットワークの構築

◆まちづくり市民会議における審議事項

審議①
 当該基本事業についての課題や問題
 (市の課題認識についての見解・問題点)
 (委員の皆さんが不安や不満に感じている点 等)

審議②
 課題や問題を解決するために提案する取組
 (行政の対応が求められる点 等)

検討課題 (問題)提起	現状と問題点



解決するための取組方策	
改善項目	説明

◆施策全般に関する意見等

成果向上に向けた取組提案シート【施策4-4】

政策	4 都市基盤に関する政策
施策	4 市街地の整備
☆施策の目指す姿 ⇒ 市街地開発事業などにより、災害に強く、秩序ある魅力あふれる街並になり、人口増加や土地の有効活用が図られています。	
重点基本事業	1 鴻巣中心拠点の充実
☆基本事業の目指す姿 ⇒ 災害にも強く、にぎわいとまちな顔になる市の中心拠点にふさわしい駅前地区を創出します。	
重点基本事業	2 土地区画整理事業の充実
☆基本事業の目指す姿 ⇒ 土地区画整理事業で良好な住環境を整備し、住み続けたいと思えるまちが創出されています。	
☆重点基本事業に選定された理由 ⇒① まちづくり市民アンケートにて、施策満足度が低く、重要度の意向が高い施策であったこと。 ② 良好な住環境を生み出す点において、人口減少社会への対策(社会人口増への対応)として、直接的効果の高い基本事業であること。 ③ 新たな新市街地の形成により、住民・企業等の進出が促進され、税収増の効果が期待できる基本事業であること。	

◆ 成果指標の動向と評価

No	指標名	単位	目標方向性	H27	H28	H29	目標値(H33)
施策指標1)	秩序ある街区、区画、街並みになっていると感じる市民の割合	%	▲	71.5% (H26)	71.5% (H27)	69.3% (H28)	77.6%
	指標・目標値設定根拠	施策の目指す姿の総合評価として設定しており、過去の伸び率を参考に各種事業進捗により6.1%の上昇を目標し、77.6%を目標値として設定しています。					
施策指標2)	市街化区域内人口	%	▲	92,466人	92,582人	92,695人	92,912人
	指標・目標値設定根拠	新市街地形成による、周辺環境への波及効果も踏まえた整備効果を測る尺度として設定しており、過年度の人口推移と事業による増加を考慮し、約450人の増加を目標とする理由から、92,912人を目標値として設定しています。					
重点基本事業1指標①	再開発地区(A地区、駅通り地区)の公共空地整備率	%	▲	73.9%	73.9%	73.9%	100.0%
	指標・目標値設定根拠	基本事業の目指す姿である「災害に強い地区の創出」を測る尺度として設定しており、平成31年度までには事業完了(=100%)を目指すものです。					
重点基本事業1指標②	鴻巣駅周辺流動人口(=地域経済分析システムRESAS)における携帯位置情報	人	▲	104,325人 (H26)	122,075人 (H27)	116,133人 (H28)	122,806人
	指標・目標値設定根拠	携帯電話の位置情報による鴻巣駅周辺に人がどれだけ滞留しているかを測ることで、基本事業の目指す姿である「にぎわいとまちな顔となる地区の創出」を測る尺度として設定しており、居住者人口と流動人口の比を用いた増加数を目標とする理由により当該目標値を設定しています。					
指標値の向上に特に貢献する事業	事務事業名			事務事業の成果動向			
	鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業			成果があがっていない			
	都市再開発法に基づき、鴻巣駅東口駅通り地区の市街地再開発事業を推進する事業です。 (※成果動向は、事業の性質上一気に整備される事業のため、進行中の現時点では成果は上がっていない評価をしています。) 【事業概要と現状】 ≪計画≫整備面積 約1.2ha 事業費 約76億円 計画人口 390人 事業完了予定年度 平成31年度 ≪現状≫事業進捗率 42.71%、地区内人口 0人						

重点基本事業2指標①	舗装まで整備が完了している区画街路の整備率	%	▲	32.3%	37.8%	38.9%	49.0%
	目標値の設定根拠	基本事業の目指す姿である「良好な住環境整備」を測る尺度として設定しており、年間約2.8%の整備増進を目標とする理由から当該目標値を設定しています。					
重点基本事業2指標②	仮換地の整備が完了し、利用が可能になった土地の使用収益開始率	%	▲	41.9%	43.0%	46.2%	56.4%
	目標値の設定根拠	基本事業の目指す姿である「良好な住環境整備」を測る尺度として設定しており、年間約2.3%の整備増進を目標とする理由から当該目標値を設定しています。					
重点基本事業2指標③	土地区画整理事業施行区域内人口	%	▲	2,240人	2,419人	2,649人	2,924人
	目標値の設定根拠	基本事業の目指す姿である「住み続けたいと思えるまちの創出」を測る尺度として設定しており、年間約120人の人口増加を目標とする理由から当該目標値を設定しています。					
指標値の向上に特に貢献する事業	事務事業名			事務事業の成果動向			
	北新宿第二土地区画整理事業			どちらかといえば成果があがっている			
	駅に近いために宅地開発が進行する傾向にあり、無秩序な市街化が形成されることが予想されるため、公共施設の整備改善を図り、良好な居住環境を有する宅地の基盤整備と既存宅地の整備改善を行うことを目的に北新宿第二地区の土地区画整理を推進する事業です。 【事業概要と現状】 ≪計画≫整備面積 62.1ha 事業費 97.2億円 計画人口 5,000人 事業完了予定年度 平成34年度 ≪現状≫事業進捗率 57.2%、地区内人口 1,579人						
指標値の向上に特に貢献する事業	事務事業名			事務事業の成果動向			
	広田中央特定土地区画整理事業			どちらかといえば成果があがっている			
	近年農地の宅地化が進む反面、公共施設整備が立ち遅れ、無秩序な市街化が形成されることが予想されるため、計画的な宅地開発を進めるため、公共・公益施設を一体的に整備改善を図り、既存農地等との整合も考慮して良好な居住環境を有する宅地の基盤整備を行うことを目的に広田中央地区の土地区画整理を推進する事業です。 【事業概要と現状】 ≪計画≫整備面積 25.3ha 事業費 33.0億円 計画人口 1,500人 事業完了予定年度 平成32年度 ≪現状≫事業進捗率 82.2%、地区内人口 1,086人						
担当課の評価	<目指す姿の実現に欠かせない考え> 進捗時→地元権利者との信頼関係 完了後→良好な整備環境を保全するための仕組みづくり						
	<目指す姿の実現に向け、課題と考えている事項> ① 事業資金の確保のため、保留地の売却を効率良く行う必要がある。 ② 反対権利者の対応に伴う事業スケジュールの確保 ③ 整備後の地区活性化への道筋						

◆まちづくり市民会議における審議事項

審議①
 当該基本事業についての課題や問題
 (市の課題認識についての見解・問題点)
 (委員の皆さんが不安や不満に感じている点 等)

審議②
 課題や問題を解決するために提案する取組
 (行政の対応が求められる点 等)

検討課題 (問題)提起	現状と問題点



解決するための取組方策	
改善項目	説明

◆施策全般に関する意見等